

拠出金名:国際水管理研究所拠出金

国際機関等名	国際水管理研究所 (英文名称・略称) International Water Management Institute (IWMI)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	農林水産省大臣官房国際部国際協力課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成21年度	25,978	252		1米ドル = 103円	100
平成20年度	11,463	101		1米ドル = 113円	0
平成19年度	11,941	103		1米ドル = 116円	0
当該拠出金の目的・用途等	持続的な水利用に関する調査・研究を実施				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2009年のもの)				国際機関等の財政 (2009年度決算)	
	国 名	金額 (千ドル)	拠出率 (%)	当該年度の収入 28,780千米ドル	
1位	日本	252	100.0	当該年度の支出 25,780千米ドル	
2位				次年度への繰越 3,000千米ドル	
3位				会計検査機関名	
4位				Pricewaterhouse Coopers	
5位					
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
2008年には、IWMIの業績が傑出しているとして世界銀行から評価された。この評価は15のCGIAR傘下の研究センターのうち、IWMIを含む4機関にしか与えられていない。2009年には、CGIARが選ぶ最優秀研究者にIWMI職員が選ばれた。このような業績の評価からみても、IWMIは水分野における国際的な専門研究機関として、重要な役割を果たしていると評価できる。 外部評価の継続的実施、業績評価の定着等により組織改革・組織運営改革を推進・進展させ、所要の見直しを実施している。2011年からは、CGIARは研究テーマを絞って7つのメガプログラムを開始する予定であり、そのうちIWMIは水と土地利用のテーマについてとりまとめを行うこととしている。					
邦人職員数 うち幹部以上	1 人 うち 0 人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率		79 人 1.3 %	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
当該機関と国内研究機関の研究資源を活用して、効率的に農業用の水資源の持続的利用に係る諸課題の解決を図っていくため、当該機関と国内独立行政法人との間で交わされている協約書に基づき、継続して当該機関への邦人職員の派遣を促進する。					